

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

2017年5週の県全体の定点当たり報告数は、4週の51.40から減少し45.27となった。報告数が多い状態が続いており、今後も流行状況に注意が必要である。

保健所別の定点当たり報告数は、16保健所中4保健所管内で増加し、印旛(60.63)、君津(60.38)、松戸(56.92)、市原(48.36)、習志野(47.94)、船橋市(47.82)が多い。

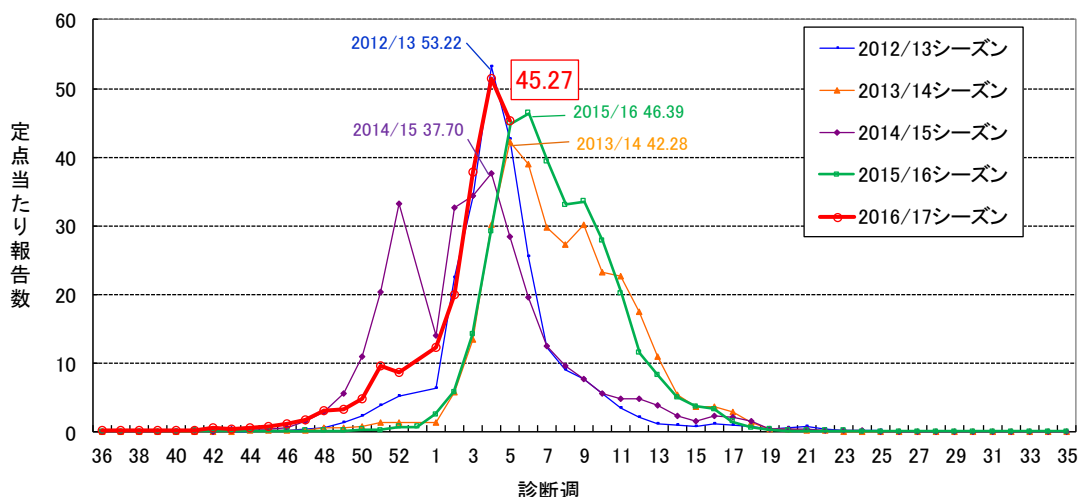
2017年5週の年齢群別報告割合は、5～9歳28.0%、10～14歳18.6%、0～4歳16.2%が多く、2016/17シーズン全体では、5～9歳24.1%、10～14歳18.8%、0～4歳15.2%が多かった。

2017年5週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、9,402例中A型8,974例(95.4%)、B型399例(4.2%)、A and B型5例(0.1%)、A or B型24例(0.3%)であった。A型の報告数(8,974例)は前週(10,090例)より減少したが、B型の報告数(399例)は前週(347例)から増加した。2016/17シーズン合計では、41,253例中A型39,877例(96.7%)、B型1,190例(2.9%)、A and B型25例(0.1%)、A or B型161例(0.4%)となった。

平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)

URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

